

File 1 - 1: 五感を使って生き物と触れ合うプログラム >>>>>>>>>>>>>>> ぐんま昆虫の森にいこう

ぐんま昆虫の森(所要時間 4 時間)



【生き物探し】

(内容)

生き物を探してから、各自見つけた生き物の発表をする。

(ねらい)

早春の生き物の観察を通し、自然の様子を知ることができる。



【ゲーム活動】

(内容)

目隠しによる距離感を体験、芝・野草・ジャリ・田んぼの中を裸足で競争する。

(ねらい)

ゲームを通し、五感を養うことができる。



【講話】

(内容) 春に目覚めた昆虫の話、 質疑応答

(ねらい)

体験した内容を振り返りながら、講話を聞き知識、理解につなげることができる。

指導体制：指導者 1 名、指導助手 5 名 に対し **対象人数**：25 ~ 30 人

準備：群馬の森への入園予約、専門スタッフの依頼、園長と講話内容の打合せ。

留意点：裸足で歩く、走る場所のチェックと安全確認。

捕獲した生物は生態系保護のため、必ず自然に帰すようにする。

プログラムの関連性

小学校学習指導要領

理科 内容 B生命・地球

5年(1) 植物の発芽・成長・結実 植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること

ウ 植物の生長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。

6年(3) 生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。